

災害看護教育セミナーを開催いたしました！

教育活動委員会主催の災害看護教育セミナーを平成 30 年 5 月 19 日に日本赤十字広島看護大学で開催いたしました。今回のセミナーは、「これからの災害看護基礎教育-いかに教えるか、災害看護-」というテーマで看護基礎教育に焦点をあてて実施しました。九州から北海道まで全国から災害看護教育に関心のある 42 名の皆さまにご参加をいただきました。参加いただきました皆さまにお礼申し上げます。

参加者の皆さまからは、「具体的な教育実践があることを知ることができた」、「災害看護教育がどのように発展してきたのか知ることができた」、「学部教育の具体的な教育方法（ディベートを活用した実際の教育内容、卒業研究の取り組み等）についてもっと学びたい」と積極的な意見をいただきました。そのうえで「参加者も一緒に考えるプログラムに参加してみたい」、「せつかくなので、半日ではなく、1 日のセミナーにしてほしい」、「大学院教育についても知りたい」等のご要望を承りました。

担当者としていたしましては、参加者の皆さまの意見を反映しながら、次年度のセミナーを企画していきたいと考えております。

[プログラムについて]

第 1 部

13:00-13:30 災害看護基礎教育の変遷

渡邊智恵（日本赤十字広島看護大学・本学会理事）

13:30-15:00 災害看護基礎教育の実際と課題

福井大学の教育活動 酒井明子（福井大学・本学会理事）

東京医療保健大学の教育活動 福田淑江（東京医療保健大学）



[渡邊講師より、災害看護教育の歩みが紹介されました。写真左より、福田講師、酒井講師、渡邊講師]

第2部

15:10-16:00 情報交換



〔講師の先生も参加し、教育、臨床に携わる参加者の皆さまとから様々なご質問や意見交換がなされました〕

〔 情報提供 災害看護コアコンピテンシー 〕

今回のセミナーでは、参加者の皆さまに事前アンケートを集めさせていただきました。

そのなかで、「災害看護に関する学部教育の取り組みは進められているが、様々なレベルであり、標準化したものがあればよいのに・・・」という意見がありました。第2部の意見交換でも、そのような内容が意見としてだされました。情報交換をした結果、“各教育機関の使命や教育理念にそって検討し、そのうえで教員のパッションが伝わるのが重要ではないか”ということになりました。

状況として、参加者の皆さまは、試行錯誤を重ねながら、災害看護教育にあたられている様子が見えられました。そのようなニーズをふまえて、教育活動委員会の企画も考えていく必要があると思っております。また、現時点で参考になるものとしては、ICN（国際看護師協会）の災害看護コアコンピテンシー等がありますので、ご紹介させていただきます。

- The ICN Framework of Disaster Nursing Competencies (ICN より)
http://www.wpro.who.int/hrh/documents/icn_framework.pdf
- 災害看護コアコンピテンシー（兵庫県立大学 「命を守る知識と技術の情報の館」 より）
http://www.coe-cnas.jp/group_education/core_competencies.html

担当：教育活動委員会(教育セミナー担当)

渡邊智恵 立垣祐子 三澤寿美